

1/18（日）香川県歯科医師会・香川県介護支援専門員協議会合同研修会
義歯と嚥下のはじめの一歩
～ケアマネージャー・歯科衛生士・歯科医師の連携が可能にする要介護高齢者の食事～



北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野
高齢者歯科学教室 助教 玉田 泰嗣 先生

外来診療および訪問歯科診療において、嚥下障害を疑う場面や介護者から食事に関する相談を受ける機会が増えている。また、訪問歯科診療に関する過去の調査において、依頼内容で最も多いのが義歯に関するものである。

大学病院における歯科治療では保存・補綴・外科などの担当歯科医師がおり、摂食嚥下リハビリテーションでは歯科も含めた複数の医療職が関わっている。そのため、複数の切り口から情報を収集でき、多面的な対応が可能となる。関わる職種が多様になるほど各職種がそれぞれの明確な強みを発揮し、互いを理解し協調することが必要となる。一方で、複数いるからこそ起こりうる単純なミスなどもある。また、複数の担当者が情報共有をする場合、情報の伝達が伝言ゲームとなり途中から誤った情報とならないようにする配慮も必要となる。

これらを踏まえて、ケアマネージャー・歯科衛生士・歯科医師の連携が可能にする要介護高齢者の食事について情報を共有する。

【ご略歴】

- 2007年 岩手医科大学歯学部 卒業
- 2008年 岩手医科大学大学院歯学研究科 入学
- 2012年 岩手医科大学大学院歯学研究科 修了
岩手医科大学歯学部 補綴・インプラント学講座
ハーバード大学歯学部留学（2014年）
- 2020年 長崎大学病院 特殊歯科総合治療部・摂食嚥下リハビリテーションセンター
- 2023年 長崎大学病院 義歯補綴治療室・嚥下障害治療センター
- 2024年 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室
現在に至る